

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 北光福祉会 ゆうべつこどもスペース ばすてる（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年10月 1日		～ 令和7年10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23家庭配布	(回答者数) 13家庭
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちやご家族に寄り添い、受容共感し、愛情を持って励ますことを関わりを中心としている。その為利用児童やご家族が安心して通うことに繋がっている。	1人1人に合った期待値を設定し、支援計画を立てている またご家族支援が必要なご家庭には利用児童だけでなく、ご家族との時間も大事にしている。既に出来ていることや挑戦出来たことに対して褒め認める声掛けをし、自信に繋げていく関わりを大事にしている。	事業所だけでなく、この方針を関係機関、学校や町にも伝え、地域全体で同じ考えのもと利用児童やご家族を支えていく。
2	適切な支援の提供。 コモンセンスペアレンティングを取り入れ、将来社会で関わる人たちと良好な関係を築くことができるように社会スキルを教え、練習する機会を持っている。	個別支援計画を作成し、定期的に会議を持ちアセスメントをしている。 子どもたちが、将来関わる人たちと良好な関係を築き、楽しく生活することができるように、社会スキルの習得を目指した目標を多く取り入れている。利用児童のモチベーションを維持できるような仕組み作りを力を入れている。	アセスメント方法やツールの見直しを図り、更に充実した支援計画の作成、適切な支援の提供を目指していく。
3	職員育成。コモンセンスペアレンティングの考えのもと、関わりを統一し、支援に当たっている。 職員の支援スキル向上のための研修の実施や学びの機会を確保している。	月1回以上の研修を実施している。その中で支援の見直し、再構築を繰り返し、状況や利用児童に合わせた対応を行っている。 定期的に職員間での面談を実施し、情報共有や支援の相談ができる体制を構築している。	今後も継続し職員の育成に力を入れ、どの職員が対応しても同じ関わりができるように学びを更に強化していく。 定期的な職員面談も継続して実施し、働きやすい、相談しやすい職場作りを目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSやホームページの活用ができていない。	ホームページやSNSを使い保護者や地域への発信が出来ていない。紙媒体のみでの発信のため、すぐに保護者に伝わらないことがある。	ホームページやマチコアプリを活用し、どこにいてもいつでも発信でき、確認できる環境を整える。活用することで発信できる情報量が増えることが期待できる。事業所やお子さんの成長についてもより知って頂くことができる。
2	地域住民や児童館に通う子どもたちとの交流ができていない。	事業所に通っている子どもたちとの人間関係しか見ることができないため、地域に住んでいる方や子どもたちと普段どのような関わりを持ち、どのようなことが課題なのかを把握することができていない。	湧別町文化センターさざ波への作品展示やオホーツク・リラ街道の花壇整備事業を通して、事業所の取り組みを知ってもらう機会にはなっているが、直接の交流は少ないのが現状。実施するためには職員体制やプライバシーポリシーの観点を踏まえた仕組み作りも考えていかなくてはいけない。
3	地域移行支援・就労支援に関わる取り組みに課題がある。	子どもたちが通っているそれぞれの学校とは協力体制にはあるが、将来を見据えた連携した支援体制にはまだ及ばないことが多い。	統一した支援を目指し、定期的な情報共有や役割分担が必要。 保護者や地域を巻き込み、みんなで考える・支える支援体制づくりを目指していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ゆうべつこどもスペース ばすてる						公表日 2026年3月30日	
		利用児童数				23名	回収数 13家庭		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9			4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			3			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2	HP,SNS等の発信をして頂きたいです。SNSやHPなどは見ていないのでわかりません。令和8年度は、マチコミアプリを活用して、欠席連絡や活動の様子等を発信して下さると助かります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1			先生方が大好きでとても楽しみにしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			ばすてるに通う事で生活のモチベーションが保てているので助かっています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			兄妹2人とも楽しみにしています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ゆうべつこどもスペースばすてる				公表日	2026年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2		個室がもう少しあると充実することもあるが、現状のスペースで支援するためには、工夫と改善が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	2		配置基準は満たしているが、活動や支援の充実を図るためには、職員数の増加が望まれる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2		もともとある建物を利用しているため、バリアフリー化ができていない箇所がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	ホール、和室があり、静の活動と動の活動に合わせて部屋分けが出来ている。 あるものを工夫して環境を整えることはできている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1		個別の部屋はあるが学習用の部屋として使用しているため、いつでも自由に使える状態ではない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	面談や引継ぎ、行事の際に保護者から話を聞く機会を設けている。	年に1回実施しているが、改善出来ていないことも多い。より良い事業所作りに向けて検討していく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		職員の話を書く機会はあるが体制上改善出来ていないこともあるため、仕組み作りを考えていく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		コモンセンスペアレンティングを取り入れ定期的な学びが確保されている。職員面談を通して資質の向上を図ることができている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	1	アセスメント表が放課後等デイサービス向けのものになるともっと分析しやすい。	アセスメント表が放課後等デイサービス向けのものになるともっと分析しやすくなるため、ツールの検討が必要。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		フォーマルなアセスメントは出来ていない。標準化されたツールを使用し、子どもの強み・課題の把握等行えるよう見通しが必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			

坂の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	必ずではないが、情報共有は細目にやっている。 職員間で直接伝えられないことは、周知共有できるようにメールを活用している。	送迎業務でみんな揃って打ち合わせが出来ないことが多い。 終了時の情報共有や振り返りの仕組み作り検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3		社会活動、買い物や公共の場の使い方等活動で実施している	地域交流の機会が作れていない、開かれた事業所作りをし地域に知ってもらうための仕組みを検討していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		湧別町にはありません
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		家族を対象としたばすてる祭や保護者を対象とした茶話会を実施している。	きょうだいを対象とした行事は出来ていないため、今後検討が必要だが、家族行事にきょうだい参加してくれることもある。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			令和8年度は、マチコミアプリを活用して、欠席連絡や活動の様子等を発信して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	町の図書館内に併設しているため、地域のみんなが見えるところにはある。	プライバシー保護の観点を考慮すると、開かれた事業所運営とは言えない。どういった形で地域との交流の場が持てるか検討が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1		策定しているが訓練までできていないことがある。実際の場面を想定した訓練を多く取り入れ緊急事態に備えていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			作成し、予定表を通じて保護者に周知しているが、訓練や研修は十分に行えていないため実際場面を想定した練習が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3				